green 東京

三方よしの仕組みをつくる

株式会社アンジュウシ
代表取締役　杉山香林さん

マーケティングに従事した経験を生かして、社会課題、消費者のアクションを啓発をするため起業。

「消費を刺激するばかりの活動をして、果たして望ましい未来の社会をデザインすることができるのか」

PR会社や広告代理店などでマーケティング・コミュニケーション領域に従事していた杉山香林さんは、ある時、このような思いを抱きました。

単に商品が売れるためにPRするという局所的な取り組みは、自分が望んでいる「やるべきこと」ではないという思いが強くなったと言います。

そして、かつて読んだアジアの子どもたちを支援するNPOの方の本を機に、「何かできることをしなければいけない」と考え続けてきたことと結び付き、「自分自身ができること」と「ソーシャルな取り組み」の接点を見い出して、アンジュウシの立ち上げに至りました。

杉山さんが取り組むのは、CSRプロジェクトのサポート。企業が社会課題の解決に向けたアクションを起こすための仕組みづくりと、そのアクションを育み、促進させる啓発・発信活動（ウェブマガジン監修企画プロデュース、PR支援など）に注力しています。

提供しているサービスの一つに「Betterwork（社員ボランティアプログラム）」があります。企業の社員ボランティア活動を通じてチームビルディングやESを高めるというものです。その様子は映像に撮って社員のインターナル・コミュニケーションにも活用しています。

「『働く誇り』は、社会とのかかわりを通してこそ感じることができる」と杉山さん。

企業で働く社員や地域で暮らす人たちが社会とのかかわりを持つためのプラットフォームをつくり、企業側には組織としての価値創造、NPO側には活動の支援という両者のメリットとなる企画を提案しています。

「世の中に三方よしの仕組みを増やす」という使命感のもと、総合的な視野で持続可能な社会づくりに寄与することを目指しています。

URL：http://unjuci.jp

聞き手・有限会社人事労務　金野美香

社会への印象変わる地域経済視察ツアー

日本ES開発協会では、自己のキャリアを考える学生向けセミナーを開催しています。「なぜ働くのか」ということを考えるものや、面接の心構えなどを伝える実務的なものなど、「日本の未来の『はたらく』を考える」をテーマに力を入れて取り組んでいます。

2013年、当協会のメインイベント「日光街道まるっと学び舎プロジェクト」では、街道沿いにある「地域と共生し地域を育む小商いの経営」を実践する中小企業を訪れフィールドワークを行う地域経済視察ツアーを実施。

学生たちからは「自分が抱いていた社会・企業のイメージとは違うことを知ることができ、とても参考になった」と多くの声をいただきました。

学生たちはメディアや周りの大人たちから多くの「働く」に関する情報を吸収し、社会に対するイメージを描いていますが、それらは時に、偏ったとらえ方になりがちです。

そこで、社会とかかわりをもって成長している企業や、多様な働き方を実現する社員を知ることで、学生たちの視野・視座は大いに変化します。

社会人として力強い一歩を踏み出すきっかけになるよう、今後も体感型の学びの場をつくり上げていきます。

「日光街道まるっと学び舎プロジェクト」に参画した皆さん

■学生ボランティア募集中

協会の活動に参画し、人との出会いを通じて、自身の未来の「はたらく」について考えてみませんか。

◉問い合わせ：日本ES開発協会（有限会社人事・労務内）
電話：03-5827-8217
（担当：瀬戸山）
URL：www.jinji-es.com

green 大阪

世界中の女性に輝いてほしい

リトルムーンインターナショナル株式会社
副社長　文美月さん

金融機関の総合職、結婚と出産を経て、自宅で起業。バスケットボール、マラソンなどスポーツをこよなく愛するワーキングマザー。

女性ならではの感性を生かしたヘアアクセサリーの通販サイトをオープンして12年間で400万点販売。品揃え1万点と、日本最大級のヘアアクセサリーECサイトに育てました。全国の専門店約400店にも卸しています。

仕事や子育てなど忙しい女性にも髪のおしゃれをもっと楽しんでもらえるように、写真や動画などを使ったヘアアレンジの提案を積極的に発信しています。

いつも一度関心を持つと、すぐ行動せずにはいられません。

社会貢献は2010年に知人から紹介してもらった国際協力教育NGOを通して、途上国の少女2人の就学支援を始めたことがきっかけでした。

彼女たちに会いにいこうと、ラオス農村地帯の小学校を訪問。プレゼントした髪飾りを付けた子どもたちの笑顔や目の輝きに胸を打たれ、「貧富を問わず、美は女性の生きる活力になる」と実感しました。訪問をきっかけに、自社も周囲も無理なく続けることができるCSR活動を模索するように。

現在は、お客様から自社、他社製品問わず使わなくなったヘアアクセサリーを回収し、それをまとめて途上国の少女たちに無償配布しています。お客様へのお礼に通販サイトで利用できる500円クーポン券を発行し、新規顧客につなげることで「お客様、途上国の少女、自社」の三方よしの仕組みを作り、年間約4千点、これまでに1万点以上の商品を寄贈しました。

2013年からは、カンボジアで現地の女性が日本のユーズド・ヘアアクセサリーを販売し、その利益から地元の教育機関へ寄付。将来的に女性の雇用創出、自立支援につながる仕組み作りに着手してます。

これからも、起業・経営経験を持つ子育て中の母親であり、在日コリアンであるなど、多くの場面で社会的マイノリティである自分の独特の視点や個性を生かし、世界中の女性が輝けるよう応援したいと思っています。

出会い、学べるクラウドファンディング

チュラキューブは2013年9月、購入型クラウドファンディングサイト「キッカケ」を立ち上げました。地域活動の支援や夢を持つ人の応援ができ、提案者と支援者が、つながることを目的にしています。

立ち上げた理由は主に二つ。一つ目はビジネスを立ち上げたい、アイデアを売り込みたいと思う人に、外部評価の得られるクラウドファンディングが、学びの場になるため。

二つ目は課題解決のためのビジネスコンペなどで生まれたアイデアの実現可能性を高めるためです。

リアルな出会いの場が特徴です。提案者の数人がプレゼンテーションをして参加者がその場で投票（寄付）する「プレゼンミーティング」や、提案者を囲んだワークショップ、交流会などの「キッカケミーティング」が設けられます。

前者では目の前で評価され、資金を得られます。後者では、じっくり話して仲間を増やすことができます。ネット世代だけがターゲットだった従来の仕組みとは異なり、実際に会い、話す場を持つことで、共感の輪が広がります。

今後「キッカケ」を利用した活動は広がるでしょう。私たちは、地域住民を地域課題解決のためのコーディネーター・チームとして育成し、ソーシャルファンド立ち上げ、キャリア教育に応用するなど、アイデアの実現に向けて動いています。

「キッカケ」のチラシと中川悠代表取締役

◉NPO法人チュラキューブ
電話：06-6375-1570
E-mail：nautilus@chura-cube.com